

**2006年6月末までに、東急線主要21駅にAED(自動体外式除細動器)を設置します
4月6日(木)に東横線渋谷駅、横浜駅で先行導入**

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄(本社:東京都渋谷区、社長:越村敏昭)では、2006年6月末までに、東急線主要21駅にAED(自動体外式除細動器)を設置します。なお、東横線渋谷駅と横浜駅には、4月6日(木)に先行導入しています。

AEDとはAutomated External Defibrillator(以下AED)の略で、心臓の心室が不規則にけいれんし、血液を送り出せなくなる「心室細動」が起きた場合に、電気ショックを与え、心臓のリズムを正常に戻すための機器です。2004年7月からAEDの使用が医師だけでなく一般の方にも認められるようになったことから、現在、空港、ホテル、スポーツ施設、駅などへの設置が進んでいます。

当社では6月末までに、東急線全98駅のうち比較的乗降客数の多い主要21駅にAEDを設置するとともに、不測の事態に備え、駅係員全員がAHA(アメリカ心臓学協会)インストラクターによる救命講習を受講する予定です。

「AED(自動体外式除細動器)設置」の概要は下記のとおりです。

記

1. 設置日および設置駅(2006年)

- ・2006年4月6日(木)

東横線渋谷駅、横浜駅 (2駅)

- ・2006年6月末まで

中目黒駅、自由が丘駅、田園調布駅、武蔵小杉駅、日吉駅、菊名駅、三軒茶屋駅、二子玉川駅、溝の口駅、鷺沼駅、あざみ野駅、青葉台駅、長津田駅、中央林間駅、目黒駅、旗の台駅、五反田駅、蒲田駅、大井町駅 (19駅/合計21駅)

2. 設置場所

各駅改札付近 別紙(東横線渋谷駅に設置したAEDの写真)参照

3. その他

駅係員全員が、6月末までにAHA(アメリカ心臓学協会)インストラクターによる救命講習を受講します。

以上

(別紙)

東横線渋谷駅に設置したAED

